

目 次

1. 「日本の歴史地震史料」拾遺四ノ上を読む 首藤 伸夫	1
2. 応永二十七年七月二十日（1420 年 9 月 6 日）常陸国河原子・相賀を襲った 津波について 都司 嘉宣	23
3. 永正九年八月四日（1512 年 9 月 13 日）徳島県穴喰浦を襲った大津波の発生原因 都司 嘉宣	29
4. 安永 8 年～天明元年（1779 ～ 1781）桜島噴火に伴う鹿児島湾の津波 都司 嘉宣・柿沼 太郎	41
5. 大正 3 年（1914）1 月 12 日鹿児島桜島噴火に伴う地震津波 都司 嘉宣・柿沼 太郎	67
6. 東北地方太平洋沖地震時の「気仙沼市津波・潮位計」の記録 —気仙沼漁港（通称コの字 -4.5M 岸壁基部）神明崎観測点— 佐藤 健一	79
7. 検潮記録が明らかにした 2024 年能登半島津波の拡散過程 阿部 邦昭	85
8. 気仙沼市大島周辺における 2025 年カムチャッカ地震による津波痕跡の検討 菅原 大助	93
9. ブラジル北海岸にみられる隕石落下による巨大津波痕跡 都司 嘉宣	103
10. 河川を遡上する津波に対する KdV-Burger 方程式の解析解 都司 嘉宣	127
11. 津波氾濫流の水平波力算定係数について 松富 英夫	145
12. 津波避難施設・場所の指定数，避難環境及び防災機能に関する調査研究 柿沼 太郎，今村 幸平	155